

国鉄改革完遂！  
当たり前の労働運動  
を前進させよう！

J R  
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部  
静岡市葵区黒金町 68  
NTT 054-284-3608  
FAX 054-283-6365  
発行責任者 山本繁明  
2012年 7月16日 No. 7

## 原発再稼動は誰のため？

昨年3月の福島第一原発事故後、菅前首相の浜岡原発停止要請をはじめ、定期点検で停止中の原発も「再稼動はストレステストが前提」という方針により、今年5月5日には、国内の原発がすべて停止する状況となりました。しかし6月8日、野田首相が「再稼動すべきだというのが私の判断だ」と表明し、大飯原発3・4号機の再稼動が決定されました。7月1日には3号機を起動、9日には出力100%のフル稼働に達しました。4号機についても25日にフル稼働を強行しようとしています。大飯原発の再稼動により最大8基の火力発電所を停止すると関西電力が発表したことに対して、「電力不足は金儲けのためのペテンだ！」との国民の怒りの声は当然だといえます。

7月8日の読売新聞で、原発推進の立場で記事が掲載されたJ R 東海葛西会長は、昨年、中部電力浜岡原子力発電所の停止要請を行った菅前首相を、何の法的根拠も無い個人的な要請、「再稼動はストレステストが前提という方針を打ち出した」から再稼動を妨げた、「菅前首相の強い思い入れ」で再生可能エネルギー特別措置法が成立し原発を止めても代替できるという幻想が生まれた、などと追及しています。一方で、「野田首相は正しい決断、リーダーとして相応しい」と上から目線で評価し「原発はなくてはならない」と主張しており、大飯原発の再稼動を推進した野田現首相を褒め称えるというところに、葛西会長のリニア中央新幹線建設推進への新たな戦略があるといえるのではないのでしょうか？

**原発再稼動反対！リニア中央新幹線建設反対！！**